

薬剤師起点で実現する 新たな医療情報提供のあり方について ～薬剤師×kotokotoによる新たなアプローチと価値～



北場 彰 氏

株式会社ファルモ
データインテリジェンス事業部
CDIO/戦略的提携ヘッド



中野 暢也

株式会社Welby
取締役COO WPCP事業責任者

データ駆動型社会が現実のものとなりつつある今、PHR（Personal Health Record）は、単なるライフログの蓄積にとどまらず、患者中心医療を社会に定着させていくための重要な基盤として位置づけられています。医療データやライフログ、マイナポータル等の情報を生活者自身が主体的に扱う時代において、PHRをどのように活用し、患者中心医療をいかに進め、継続していくのかは、医療・ヘルスケアに関わるすべての関係者にとって重要なテーマです。

Welby Lunch Sessionは、こうした問いに向き合うために継続的な知の発信源として、過去2年間で計22回開催してきました。医療・ヘルスケア領域の第一線で活躍する登壇者とともに、PHRと患者中心医療を実践へと進めるための考え方やプロセス、体制、価値観を共有してきました。知見や論点をアップデートし続けるシリーズとして、理念にとどめず、現場での実装につなげるための視点をお届けします。

デジタル社会が進展する中、AIが台頭し便利になる一方、患者は自身の病気・症状・治療・薬剤についてより多くの情報の中から自身に必要となる正しい情報にたどり着くことが難しく課題となっています。

この課題解決のひとつとして当社は本年4月にWelby Patient Contents Platform（略称：WPCP）をリリースし、患者（若しくはご家族）・医療者に患者の適正な治療・疾病・薬剤理解に繋がる情報・コンテンツを届けるサービスを開始しました。

第31回では薬局を起点とし、薬剤師と本サービスの掛け合わせによる新たな医療情報の提供における患者、薬剤師、そしてコンテンツ提供される製薬企業それぞれのメリット・提供価値について紹介いたします。

日 時

**2026年 10月 28日（水）
12:05 ～ 12:55**

場 所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2026年 10月 27日（火）17:00まで

お申込みは **下記の二次元コードを
クリック** または **読み取り** ください

